



ふるさとの担い手の思いが形に たゆまぬ努力の結実に感動

第16回

杉岡 誠 村長の 愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



初冠雪が見られた11月。厳しい冬の寒さが勇み足で訪れております。11月15日に「全国若手町村長会」が設立されました。私と同様ふるさとへの熱い思いからアイターンした方や元オリンピック選手まで、実に多彩な経歴の方がこの会の目的です。49歳以下で当選した全国の若手首長さんと本音で研鑽を積むのがこの会の目的です。熱い思いを交わし合い、あらためて「人口減少社会における持続可能性」や「住民の幸せの形」を考える好機となりました。今後、住民の皆さま同士交流にも発展させていきたいと思います。

19日は35回目となる「ふくしま駅伝」でした。後半8区からのオープン参加の中、子育てをしながら練習に励んで初参加となったランナーの方が53チーム中、区間33位の大健闘を見せてくれたこと、学園生はじめ全選手が激走を見せてくれたことに強く胸を打たれました。練習の成果を遺憾なく発揮してくださった選手の皆さまはもちろん、来年に襷をつなぐ献身的なサポートをしてくださったご家族関係各位の皆さまに、深く御礼申し上げます。

23日には恒例となった「いいたて雪つ娘かぼちゃ祭り」で初となるアイデア料理コンテストに参加し、とにかくアイデアが凄い！お料理として、「いいたて雪つ娘かぼちゃのウニみたいなお寿司」を選ばせていただきました。「見るとウニの軍艦巻きですが、食すと雪つ娘かぼちゃのまるやかさと甘みが酢飯とよく合った「質よし、味よし、見た目よし」のメニューです。全国規模でのファンの広がりを実感するイベントとなりました。

また同日の夜は、図画倉庫の「めぐりあるきレストランヒカリノトリ」というアートイベントに伺いました。参加者が「観測者」となってアーティストが描く世界の中を探訪しながら「田舎レストランラカッセ」のお料理を味わうという、まさしく「リアージュ」を堪能するひと時となりました。

25日には「いいたて冬まつり」に続いて、村の風物詩となった「イルミネーション点灯式」「いいたて冬の火花」が行われました。多くの方々インスタグラムなどにその美しさを感動を投稿されていますので、ぜひご覧ください。

鈴木農園さんのプロバイオポニックス栽培の特色JASの認証取得という嬉しい報告にも恵まれました。ふるさとの担い手たる皆さまの努力の一つひとつが、新たな「ワクワク」を生み出し、実を結んでおられます。

2023年も残り僅かとなりました。12月もワクワクする楽しい日々を過ごして参りましょう。

■ひとのうごき

おくやみ

氏名	年齢	行政区
桑折 光 さん	81	上飯樋
赤石澤 ハツイ さん	91	草野
千葉 実 さん	73	前田
菅野 静子 さん	74	飯樋町
高橋 みつ さん	101	前田
菅野 博 さん	88	佐須
今野 征美 さん	74	飯樋町
菅野 キミ子 さん	82	大久保・外内
高橋 正道 さん	90	深谷

ご冥福をお祈り申し上げます

(10月21日から11月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。



ひとのうごき 令和5年10月31日現在

人口	今月 (前月比)	10月1日~31日までの人口動態
●男	2,371人(-6)	転入 4人
●女	2,344人(-10)	転出 13人
計	4,715人(-16)	出生 0人
世帯数	1,822戸(±0)	死亡 7人
		(住民基本台帳人口)



飯館村地域おこし協力隊がつづる いいたて DIARY

みなさん、こんにちは！
最近はずっと寒くなりましたね。

今回は、改めて報告がございます。僕は12月をもちまして、協力隊を卒業いたします。なので、「いいたてDIARY」もこれが最後となります。

ほんとあつという間な3年間でしたが、とつても貴重な体験ばかりでした。

今後も飯館村で活動していく予定ですが、仕事が変わるので、期待と不安でいっぱいです。

3年間、大変お世話になりました！
ありがとうございました。



地域おこし協力隊 松尾 洋輝 さん

今月のライター

村民広報委員 ふじおさんの いいたて 宝さがし

第17回 二人の時間！



木漏れ日の陽の光が涼しげに射す秋の日に、今回は押口商店の菅野敬さん・皆子さん夫妻(関根・松塚)を訪ねました。玄関から茶の間の間仕切りの暖簾が高く長く見事で、見ると着物の江戸褌を利用した皆子さん手作りのものでした。水墨画や俳句も趣味の一つだそうです。

敬さんは店を継いで3代目だそうです。昔は地域の納税組合長や消防団、また発足当時の防犯協会長や村の商工会長なども務められたそうです。



震災後は二人で過ごす時間もできて、北海道旅行や四国八十八か所のお遍路参りもされたそうです。道中のお二人の楽しい会話がなんとなく聞こえてきそうな気がします。

「あ、んだ。ライオンズクラブで行ったドイツやハワイ、カナダも良かった！」と敬さんが話し、ナイアガラの滝の壮大な景色の中でカッパを着ながら遊覧船に乗った話などしてくださいました。心に残る思い出旅行だったろうと思いました。

旅行も含めてゆっくりとした時を過ごせるようになったのが、二人の人生の宝だと、薪ストーブに薪をくべながら語ってくれたのがとても印象的でした。

